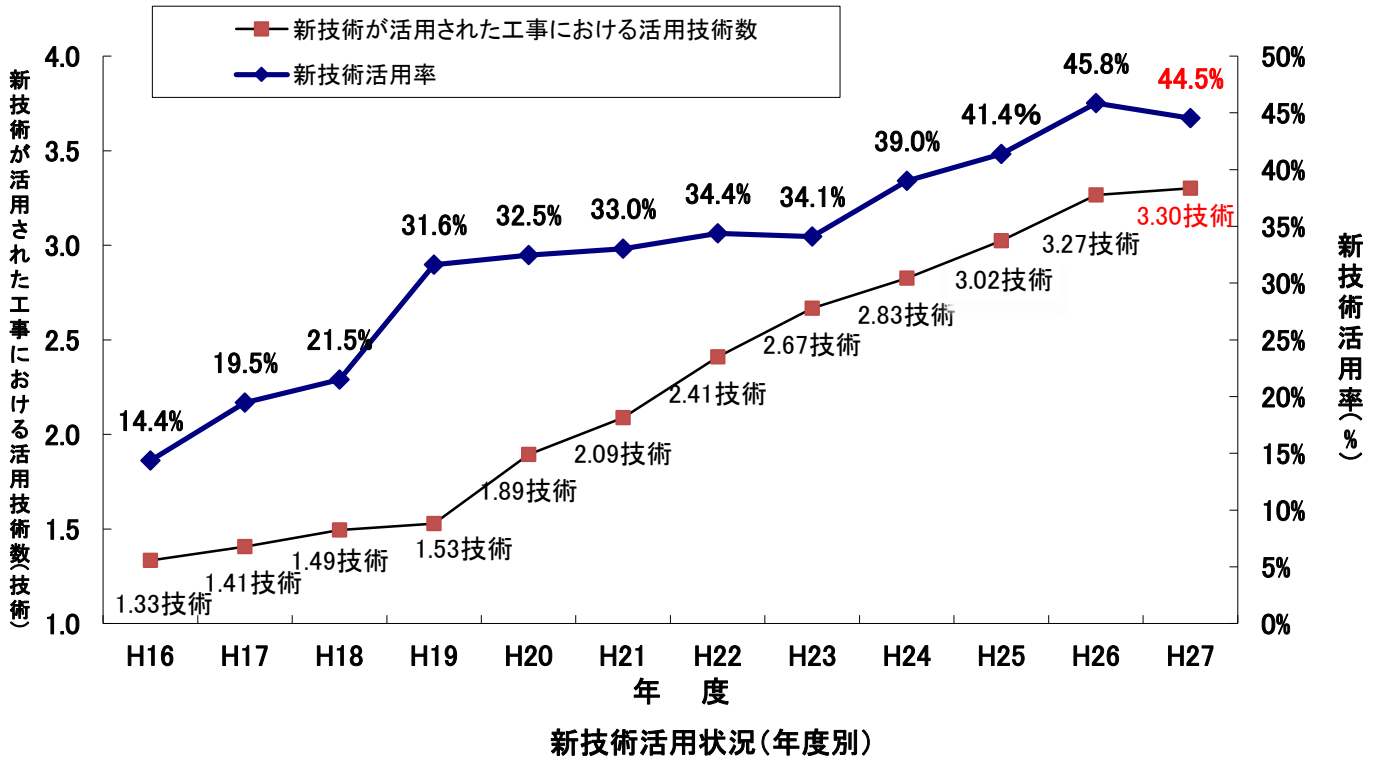


1. 新技術活用状況の推移

- 新技術活用率(新技術を活用した工事件数を総工事件数で除したものは、平成27年度では**44.5%(過去2番目の高水準)**となり、**3年連続で40%を超えています**。
- 活用延べ新技術数は15,388件となり、新技術が活用された工事(4,661件)においては**平均3.30技術**が活用されています。
- 1工事あたりの活用新技術数は、**1.47技術** となりました。



新技術活用状況	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
①総工事件数	14,764	13,748	12,648	13,453	14,435	15,051	12,227	13,444	12,910	14,194	11,945	10,469
②新技術活用工事件数※1	2,120	2,677	2,720	4,255	4,687	4,972	4,202	4,584	5,035	5,874	5,476	4,661
③活用延べ新技術数	2,827	3,763	4,063	6,501	8,879	10,381	10,124	12,226	14,224	17,762	17,883	15,388
新技術活用率 (②/①)	14.4%	19.5%	21.5%	31.6%	32.5%	33.0%	34.4%	34.1%	39.0%	41.4%	45.8%	44.5%
新技術が活用された工事における活用技術数 (③/②)	1.33	1.41	1.49	1.53	1.89	2.09	2.41	2.67	2.83	3.02	3.27	3.30
1工事あたりの活用新技術数 (③/①)	0.19	0.27	0.32	0.48	0.62	0.69	0.83	0.91	1.10	1.25	1.50	1.47
④活用新技術数 (同一技術の重複を含まない)	-	-	-	-	1,268	1,406	1,376	1,428	1,517	1,645	1,590	1,616

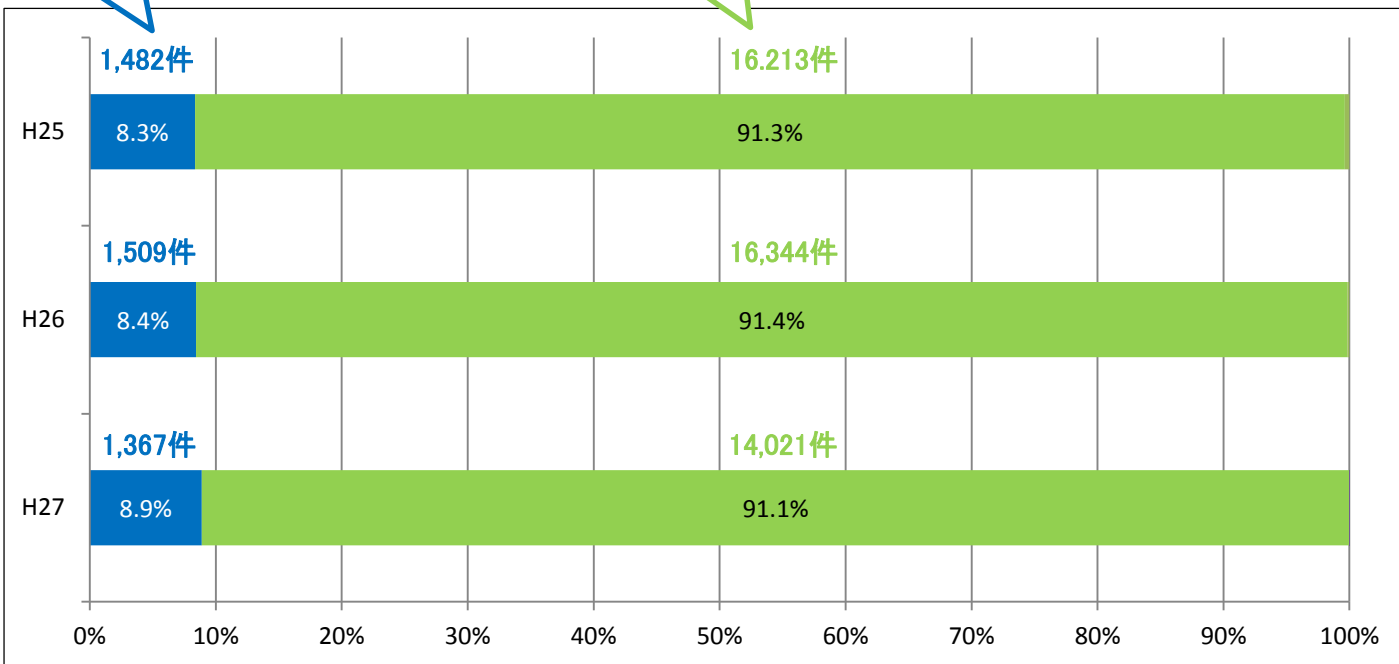
※1 新技術活用工事件数とは、新技術を1件以上活用した工事の件数

2. 施工者による新技術に関する提案の増加

- 新技術を施工現場で活用する方法には、大きく分けて5つの型※2があります。これら5つの型による、延べ活用件数の年度別推移は以下のとおりです。「施工者希望型」(入札契約の総合評価方式における技術提案、又は契約締結後に施工者からの技術提案に基づき新技術を活用する)による割合は、平成27年度では全体の91.1%を占めており、施工者が積極的に新技術を活用している状況になっています。一方で、「発注者指定型」による割合は、2年連続で増加しており、発注者においても積極的に新技術を活用している傾向が見られます。

発注者指定型 ※3

施工者希望型



※3 フィールド提供型による活用も含む

- 上記のように「施工者希望型」の割合が増加した要因としては、国土交通省がこれまでに行ってきた、施工者による新技術の活用を促進するための下記の取り組みの効果と考えられる。
 - ① 入札契約の総合評価方式において、施工者が新技術に関する技術提案を行った場合に加点。(平成17年10月以降各地方整備局で順次運用を開始)
 - ② 施工者からの提案により、直轄工事で新技術を活用した場合に、工事成績評定で加点。(平成18年9月より運用を開始)

※2 「公共工事等における新技術活用システム」の新技術の活用の型には、以下の5つがある。

- **施工者希望型**: 入札契約の総合評価方式における技術提案又は契約締結後における施工者からの技術提案申請に基づき、施工者が新技術を活用する型。
- **発注者指定型**: 直轄工事における現場ニーズ、行政ニーズにより必要となる新技術を発注者の指定により活用する型。
- **試行申請型**: 事後評価未実施技術を対象に、NETIS申請者の試行申請に基づき試行を行う型。
- **フィールド提供型**: 現場ニーズ等により、各地方整備局等により、各地方整備局等がNETIS申請者から新技術提案募集を行い、フィールドを提供し、活用する型。
- **テーマ設定型(技術公募)**: 現場ニーズに基づき設定した技術テーマに対し、応募のあった技術を現場で活用、評価することで、新技術の現場導入及び評価の加速化に取り組む型。

3.1 活用件数の多い新技術(全ての活用型を含む)

●平成27年度の活用延べ新技術数15,388件のうち、活用件数上位20位の新技術は以下のとおりです。平成27年度に最も活用件数が多かったのは、ユニット型の仮設昇降階段である「ラク2タラップ」でした。その他に活用件数が多かった新技術は、コンクリート工に関する新技術や仮設工に関する新技術などです。また、ランキングに占める技術のうち、55%の技術が有用な技術に位置づけられています。

活用件数の多い新技術(平成27年度)

順位	NETIS登録番号	技術名	副題	工種	有用な技術	震災NETIS*4	建設技術審査証明の取得
1	KT-010099-VE	ラク2タラップ	ステップ一枚の傾斜角度を合わせるだけで、タラップ全体のステップが一同に、合わせる新昇降機材	仮設工	推奨技術 設計比較対象技術	○	
2	CB-100037-VE	軽トラック積載対応型屋外可搬式トイレユニット	車載トイレ	仮設工			
3	KT-070054-VE	ジョイントテックスGT-400	洗い出し不要の打ち継ぎ処理剤	コンクリート工	活用促進技術	○	
4	TH-070005-VE	カプセルブリズム型高輝度路上工事用標示板(工事看板)	路上工事用標示板向けカプセルブリズム型高輝度再帰反射シート	仮設工		○	
5	CB-080028-VE	とまるくん(普通車用)・(大型車用)	道路工事現場での車両誤進入によるもらい事故防止	道路維持修繕工			
5	KT-060150-VE	3次元設計データを用いた計測及び誘導システム	計測及び誘導システム	調査試験	準推奨技術	○	○
7	KT-090046-VE	法面2号ユニバーサルユニット自在階段	ユニット型昇降設備	仮設工	推奨技術 設計比較対象技術	○	
8	KK-100021-VE	ソーラー式LED表示機	ソーラー充電式バッテリーによるLED文字・映像表示装置	その他	設計比較対象技術	○	
9	CG-060005-VE	アクアマットSタイプ	コンクリート傾斜面および水平面用の湿潤養生マット	コンクリート工	活用促進技術		
10	KT-010204-VE	ジョイントエースJA-40	コンクリート打ち継ぎ面処理剤	コンクリート工	活用促進技術	○	
11	KT-060068-VE	リンクプレート	建設現場用敷鉄板堅結安全止金具	仮設工	設計比較対象技術	○	
12	CG-110011-VE	後方監視カメラ搭載油圧ショベル	運転席右前方のモニタ画面で後方の安全確認ができ、ヘッドガード一体型キャブを搭載した油圧ショベル	土工			
13	HK-100017-V	間伐材を利用した木製標示板(製造時と植林システムによるCO2削減)	製造時のCO2排出量の少ない木製品や間伐材使用製品の利用と植林システムによるCO2削減、循環型社会の構築	仮設工			
14	KT-100042-VE	大容量燃料タンクを搭載したエコベース発電機及び溶接機	長時間運転可能な大容量燃料タンクと、機外への燃料等の流出を防止するエコベースを一体型にしたエンジン発電機及び溶接機	仮設工	設計比較対象技術	○	
15	KT-060093-VE	「Orpheus」オルフェウス	工事トータルソリューション&企業総合力強化システム「Orpheus」オルフェウス	その他	活用促進技術		
16	KK-110050-VE	土木標準積算データを利用した施工管理システム[デキスパート]	工程管理、施工計画書、安全管理、CO2排出量管理、出来形管理・写真の電子納品等の施工管理業務支援	CALS関連技術			
17	KT-090071-VE	オイルフェンス一体型発電機	長時間運転する場合、別置燃料タンクなしで運転し電力を供給できるエンジン発電機です。	電気通信設備			
17	KT-100110-VE	安全建設気象モバイルKIYOMASA	リアルタイム局地気象情報・警報閲覧通知システム	土工	設計比較対象技術	○	
19	KT-100078-V	ソーラーキングシリーズ	太陽光を利用して2色のLEDを点滅させ、通行人や運転者等に警告を発するソーラー式工事灯	仮設工		○	
20	CB-100052-VR	土木施工支援システム(LANDRiv&LanDeco)	3次元設計データを利用し、①TS(トータルステーション)とデータコレクタ(LANDRiv&LanDeco)。又は、②LANDRivを搭載したTS(トータルステーション)。の一方を用いて高効率+高品質を実現する施工管理システム(出来形管理・丁張設置・路線設置・測量)。	土工		○	

※4 震災NETISとは
新技術活用システム(NETIS)に登録された技術を対象として、震災復旧・復興に資する技術をNETIS申請者より募り、広く情報提供することで、震災復旧・復興の現場における活用を支援する「NETIS震災復旧・復興支援サイト」であり、ここに登録されている技術を「○」で示しています。

各技術の占める割合(平成27年度)

	有用な技術	建設技術審査証明の取得
ランキング20に占める割合	55%	5%
全登録技術に占める割合	9%	6%

3.2 活用件数の多い新技術(施工者希望型)

●平成27年度に施工者希望型として活用された技術のうち、活用件数上位20位の新技術は以下のとおりです。施工者希望型で最も活用件数が多かったのは、「ラク2タラップ」で、全体のランキングと同じ結果となりました。活用された技術の内訳として、施工者希望型の占める割合が高いことから、他の順位もおおむね全体のランキングと同様の結果となりました。

施工者希望型における活用件数の多い新技術(平成27年度)

順位	NETIS登録番号	技術名	副題	工種	有用な技術	震災NETIS*4	建設技術審査証明の取得
1	KT-010099-VE	ラク2タラップ	ステップ一枚の傾斜角度を合わせるだけで、タラップ全体のステップが一同に、合わさる新昇降機材	仮設工	推奨技術 設計比較対象技術	○	
2	CB-100037-VE	軽トラック積載対応型屋外可搬式トイレユニット	車載トイレ	仮設工			
3	KT-070054-VE	ジョイントテックスCT-400	洗い出し不要の打ち継ぎ処理剤	コンクリート工	活用促進技術	○	
4	TH-070005-VE	カプセルブリズム型高輝度路上工事用標示板(工事看板)	路上工事用標示板向けカプセルブリズム型高輝度再帰反射シート	仮設工		○	
5	CB-080028-VE	とまるくん(普通車用)・(大型車用)	道路工事現場での車両誤進入によるもらい事故防止	道路維持修繕工			
5	KT-060150-VE	3次元設計データを用いた計測及び誘導システム	計測及び誘導システム	調査試験	準推奨技術	○	○
7	KT-090046-VE	法面2号ユニバーサルユニット自在階段	ユニット型昇降設備	仮設工	推奨技術 設計比較対象技術	○	
8	KK-100021-VE	ソーラー式LED表示機	ソーラー充電式バッテリーによるLED文字・映像表示装置	その他	設計比較対象技術	○	
9	CG-060005-VE	アクアマットSタイプ	コンクリート傾斜面および水平面用の湿潤養生マット	コンクリート工	活用促進技術		
10	KT-010204-VE	ジョイントエースJA-40	コンクリート打ち継ぎ面処理剤	コンクリート工	活用促進技術	○	
11	CG-110011-VE	後方監視カメラ搭載油圧ショベル	運転席右前方のモニタ画面で後方の安全確認ができ、ヘッドガード一体型キャブを搭載した油圧ショベル	土工			
11	KT-060068-VE	リンクプレート	建設現場用数鉄板堅結安全止金具	仮設工	設計比較対象技術	○	
13	HK-100017-V	間伐材を利用した木製掲示板(製造時と植林システムによるCO2削減)	製造時のCO2排出量の少ない木製品や間伐材使用製品の利用と植林システムによるCO2削減、循環型社会の構築	仮設工			
14	KT-100042-VE	大容量燃料タンクを搭載したエコベース発電機及び溶接機	長時間運転可能な大容量燃料タンクと、機外への燃料等の流出を防止するエコベースを一体型にしたエンジン発電機及び溶接機	仮設工	設計比較対象技術	○	
15	KT-060093-VE	「Orpheus」オルフェウス	工事トータルソリューション&企業総合力強化システム「Orpheus」オルフェウス	その他	活用促進技術		
16	KK-110050-VE	土木標準積算データを利用した施工管理システム[デキスパート]	工程管理、施工計画書、安全管理、CO2排出量管理、出来形管理・写真の電子納品等の施工管理業務支援	CALS関連技術			
17	KT-100110-VE	安全建設気象モバイルKIYOMASA	リアルタイム局地気象情報・警報閲覧通知システム	土工	設計比較対象技術	○	
18	KT-090071-VE	オイルフェンス一体型発電機	長時間運転する場合、別置燃料タンクなしで運転し電力を供給できるエンジン発電機です。	電気通信設備			
19	KT-100078-V	ソーラーキングシリーズ	太陽光を利用して2色のLEDを点滅させ、通行人や運転者等に警告を発するソーラー式工事灯	仮設工		○	
20	TH-110004-V	ソーラー式フルカラーLED電光表示板	4文字2段横型フルカラー表示機	道路維持修繕工	設計比較対象技術		

※4 震災NETISとは
新技術活用システム(NETIS)に登録された技術を対象として、震災復旧・復興に資する技術をNETIS申請者より募り、広く情報提供することで、震災復旧・復興の現場における活用を支援する「NETIS震災復旧・復興支援サイト」であり、ここに登録されている技術を「○」で示しています。

各技術の占める割合(平成27年度)

	有用な技術	建設技術審査証明の取得
ランキング20に占める割合	60%	5%
全登録技術に占める割合	9%	6%

3.3 活用件数の多い新技術(発注者指定型)

●平成27年度に発注者指定型として活用された技術のうち、活用件数上位20位の新技術は以下のとおりです。発注者指定型で最も活用件数が多かったのは、補強部材の最適配置と壁面部材の大型化を実現した補強土壁工法である「スーパーテールアルメ工法」となりました。

発注者指定型における活用件数の多い新技術(平成27年度)

順位	NETIS登録番号	技術名	副題	工種	有用な技術	震災NETIS*4	建設技術審査証明の取得
1	QS-060012-VE	スーパーテールアルメ工法	補強材の最適配置と壁面部材の大型化を実現した補強土壁工法	共通工		○	
2	CB-980012-V	パワーブレンダー工法(スラリー噴射方式)	浅層・中層混合処理工	共通工	推奨技術 設計比較対象技術	○	○
3	KK-070008-V	抵抗板付鋼製杭基礎(ポールアンカー100型)	道路標識柱及び道路照明柱用基礎	基礎工	準推奨技術 活用促進技術	○	
4	SK-060003-V	プレガードⅡ	プレキャストガードレール基礎	付属施設	準推奨技術 設計比較対象技術	○	
5	CB-050040-VE	ガードレール・ガードパイプ 自在R連続基礎ブロック	ガードレールカーブ対応型連続基礎	付属施設	活用促進技術	○	
6	KT-980205-V	エポコラム工法(地盤改良工法)	エポコラム-Loto工法(大口径φ2,500地盤改良工法)	共通工	準推奨技術 設計比較対象技術	○	○
7	CG-010007-VE	グリーンパネル工法	全面緑化出来る切土補強土工法	共通工	活用促進技術	○	
8	KT-010186-VR	ゼロスペース工法	仮設を用いる現場打ちボックスカルバート施工時における余振り幅削減を目的とした施工法	仮設工	活用促進技術	○	
9	KT-980624-VE	FCB工法	気泡混合軽量土を用いた軽量盛土工法	土工		○	
10	SK-990017-VE	MT/パイプ(二重式排水管)による水抜きボーリング工法	地すべりや災害復旧に用いる地下水排除工法	砂防工		○	
11	HR-100013-V	支承の若返り工法	金属溶射を使って既設鋼製支承の防錆力を向上させ、同時に潤滑性防錆剤を注入する工法。	道路維持修繕工			
11	TH-990034-VE	緑化テールアルメ(テラレールF2テラヴェール)工法	緑化補強土壁工法	共通工		○	
13	CB-980008-VE	残存型枠工法「残存型枠プロテックピラスワンダー」	施工性に優れたコンクリート製残存型枠	コンクリート工		○	○
13	CB-980118-VE	硬質地盤クリア工法	硬質地盤への矢板・杭の静的圧入工法	仮設工	活用促進技術	○	
13	KK-020061-V	アデムウォール	多機能で耐久性に優れたジオテキスタイル補強土壁	共通工	準推奨技術 活用促進技術	○	○
13	KT-990222-VE	仮橋仮橋斜張式架設工法	LIBRA工法	仮設工	推奨技術 活用促進技術	○	○
13	KT-990459-VE	自走式土質改良機	移動型改良工法対応機(SR-P600/SR-P1200/SR-G2000/SR2000G)	土工	設計比較対象技術	○	
13	QS-120024-A	改良芝品種「エルトロ」・「ビクトール」を用いたロール芝工法	維持管理コストを抑えた上での良質なターフの形成	共通工			
19	CG-050010-V	INSEM-SBウォール工法	砂防ソイルセメント工法(INSEM工法)による堤体内部材と機能性に優れた外部保護材を組み合わせた複合構造形式の砂防えん堤工法	砂防工		○	○
19	KT-990542-V	合成樹脂製多孔管 孔多くん	浅層埋設が可能な電線ケーブル地中化方式	共同溝工	活用促進技術	○	

※4 震災NETISとは
新技術活用システム(NETIS)に登録された技術を対象として、震災復旧・復興に資する技術をNETIS申請者より募り、広く情報提供することで、震災復旧・復興の現場における活用を支援する「NETIS震災復旧・復興支援サイト」であり、ここに登録されている技術を「○」で示しています。

各技術の占める割合(平成27年度)

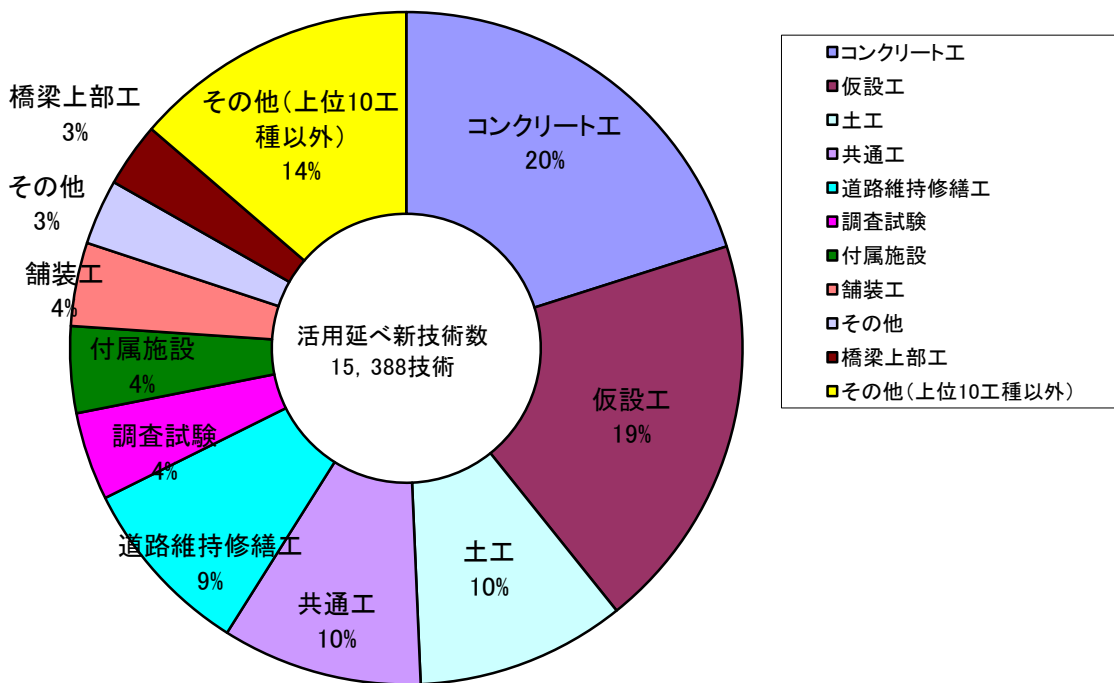
	有用な技術	建設技術審査証明の取得
ランキング20に占める割合	60%	30%
全登録技術に占める割合	9%	6%

4. 活用件数の多い工種

●新技術活用件数の工種別内訳は下記のとおりです。

平成27年度において、活用述べ新技術数15,388件のうち、もっとも多くの新技術が使われた工種は、「コンクリート工」でした。

次いで、「仮設工」、「土工」、「共通工」、「道路維持修繕工」の順に、多く活用されていました。



活用延べ新技術数の工種別内訳

活用延べ新技術数の工種別内訳

順位	工種ランキング	活用件数 (述べ技術数)
1	コンクリート工	3,093
2	仮設工	2,946
3	土工	1,550
4	共通工	1,482
5	道路維持修繕工	1,340
6	調査試験	653
7	付属施設	640
8	舗装工	618
9	その他	484
10	橋梁上部工	475
	その他(上位10工種以外)	2,107
		15,388